

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		1,465,126	1,271,458	1,856,198				
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	976,745	847,631	1,237,459				
	一般財源	488,381	423,827	618,739				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市町村職員中央研修所 派遣職員数	年度内派遣職員数	人	目標	19	21	27
					実績	21	19	26
				目標達成率（%）		110.5%	90.5%	96.3%
	②				目標			
					実績			
目標達成率（%）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>当該研修所へ職員を派遣することで、専門性の高い知識・スキルや最先端の政策情報を収集でき、全国的なネットワークの形成の場を確保することができる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	業務の都合等で想定どおりに派遣することができなくなった場合に、別日程の同じ研修科目に派遣したり、派遣する職員を変更したりして、派遣自体を取り止めることがないように調整したためである。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	職員が専門的知識を習得することにより業務の資質向上につながる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	研修を受講し、専門性の高い知識を習得することで現状を分析・検証し、業務の質の向上や市民サービスの向上を図る。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■現状維持
実施予定時期					
具体的内容	市民サービス（行政サービス）の向上に直接つながる事業ではなく、間接的な効果を求める事業であるが、当該事業の効果は高く、他に代わる研修機関もないことから、当該事業については継続（現状維持）する必要があると考えられる。				